

練馬区子ども読書活動推進会議(第10期第4回)要録

日時：令和3年5月17日（月）

場所：書面開催

参加者

○委員（敬称略）

林、木村、工藤、埴、境野、荒井（友）、荒井（雪）、乾、大山、慶野、生田、立花

1 報告

- (1) 子ども読書活動推進会議第10期委員の変更について（資料1）
- (2) こどもと本のひろばの文部科学大臣表彰について（資料2）

2 議題

- (1) 区立図書館児童青少年サービスへのコロナ禍の影響について（資料3）
- (2) オンライン会議サービスによる推進会議の開催について（資料4）

【配付資料】

資料1 練馬区子ども読書活動推進会議委員の変更について
練馬区子ども読書活動推進会議第10期委員名簿（令和3年4月1日）

資料2 練馬区立南大泉図書館分室
こどもと本のひろばの文部科学大臣表彰について

資料3 区立図書館児童青少年サービスへのコロナ禍の影響について

資料4 オンライン会議サービスによる推進会議の開催について

以上

議題 1 についての自由意見

<p>委員 ①</p>	<p>(意見というよりは感想です)昨年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響で、イベント等の開催に制約があったにもかかわらず、巣ごもり需要を受けた利用者、貸出数の増加は読書にふれる、きっかけと言った面でも、すばらしいことだと思いました。関係者の皆様のご尽力に感謝したく存じます。イベントは学校教育におけるタブレット端末利用の浸透があれば読書に親しむイベントもオンライン開催などによって(家庭内でのパソコン環境に依存せざるを得ない、機会の不公平性は鑑みつつ)活動を維持・継続していけると良いと思います。</p>
<p>委員 ②</p>	<p>「緊急事態宣言という経験のない社会状況の中で、学校が休みになり、大人も子どもも不安の中、外に出られない生活が長く続いた時、図書館が閉館になったことは残念でした。幼児と保護者は子どもと本を楽しむ場や、おはなし会がなくなり困ったことでしょう。青少年は学ぶ機会が制限され、図書館での本の貸出が止まったことは彼らから学ぶチャンスを奪ったことにならないでしょうか。その中で、練馬のいくつかの家庭文庫は、その間も本の貸出を続けていました。感染者が出ないように、換気をする、密を避ける、文庫には電話をしてから来てもらう、時間制限の実施、衛生管理の強化、返却本は消毒してから配架、などの努力をしました。ある家庭文庫主宰者が『ステイホームをきっかけに、読書の習慣がついた子どもたちがいたことを覚えて頂き、今後に活かしてください』とおっしゃっています。緊急事態宣言中しばらくして、図書館が本を貸出セットを作り、利用者の要求に応えようとしたのは良いことでした。この発案はどこからのものだったのか、と思っています。図書館は安全な場所で、おはなし会などを楽しめる場所、必要な場所という再認識が広がっています。いただいた資料の中の『コロナ禍を、家で読書を楽しむ好機ととらえる。インターネットやオンライン動画も導入して、サービス提供を充実させたい』ということは必要と思います。今回の議題の「区立図書館児童青少年サービスへのコロナ禍の影響について」は、どのように書いてよいか分かりにくいテーマでした。また青少年事業について、行っている事業名が分かりませんでした。それから資料のなかに「ブックスタート」の名称が見あたりません。なぜでしょうか。送られた資料だけから、いろいろ突き合わせて正しく理解するのは、とても時間がかかり不安です。コロナが落ち着いたら、是非とも対面会議に戻って頂きたいです。よろしく願いいたします。</p>

委員 ③	<p>コロナ禍での公共図書館、学校図書館の役割は大きいと感じた。(本の貸出だけでなく事業についても)</p> <p>質問・資料 3-1 の「その他子供事業」とはブックスタートですか。・小学校・保育園などへの団体貸出は? ・学校図書館の電算化での学校図書館の利用については?</p>
委員 ④	<p>コロナ禍の中、行事の中止、参加者の減少は仕方のないことだと感じます。幼稚園でも絵本(紙芝居)の時間を大切にしてきました。保護者から“図書館にいかれなくて…”という声も聞かれた。だからこそ園で絵本の時間を大切にしたいと思いました。</p>
委員 ⑤	<p>議題 1 について、コロナ禍の影響が強く出て、児童事業への参加者数も もっと少ないのでは、と思っていましたが、「事前予約制」や、「時間を短縮して複数回開催」など、区立図書館の方々の様々な工夫により、コロナ禍 前の半数近くを維持できていることに、驚きを感じました。貸し出し数における巣ごもり需要については、ほぼ予想通りでしたが、さらに、「こんなときだからこそ、家で本を読もう！」というようなポスターなども作って、一層の呼びかけが図られると、利用者もさらに増えるのではないのでしょうか。まだまだ、コロナ禍での厳しい状況は続くものと思いますが、「できないではなく、何ならできるのか」という視点で取り組んでいただければと思います。</p>
委員 ⑥	<p>資料にもあります通り、家庭で過ごす時間は、読書に親しむ時間として有効に機能しています。しかしこれは、同時に読書活動の危機の始まりでもあると感じます。</p> <p>ワクチン接種などによって、通常の生活に戻った時に、久しぶりに外で活動できる喜びを優先し、従前よりも一層読書離れが進む可能性があるからです。</p> <p>今のうちに、Z o o mを活用しての読み聞かせや、青少年を対象としたオンライン読書会などの機会を構築し、もっと読書の定着を進めていただきたいです。</p> <p>また、本校では近隣の図書館との連携を行っているところですが、これまで学年で訪問していたところを、学級(40名以下)で訪問したい旨、打診したところ、「密になる可能性」から難しいとの回答でした。やむを得ない判断とは思いますが、コロナ禍の影響で、図書館に親しむ機会の減少は残念でした。</p>

委員 ⑦	<p>本を読むこと、これは、子どもにとっても大人にとっても、とても大切なことだと思います。ステイホームが推奨される中、図書館はすべての人々にその機会を提供できる重要な場所となります。しかし、そこで感染が広がらないよう、対策をとりつつ、開館し続けること、職員の皆さんの努力に感謝いたします。子どもたちにとって無料で多くの書籍に触れる機会を作ることと感染対策を同時に行うのは困難を極めるとは思いますが、子どもたちの学びを広げる為にも、できることを1つずつ取り組んでいってほしいと思います。</p>
委員 ⑧	<p>・児童事業について コロナ禍の影響をデータで比較したいので、できれば、年総計だけでなく、コロナ禍による休館後の四半期のデータの前年比や、月ごとの前年比があると、よりわかりやすかったのではないかと思います。データをどう読めばいいのか、少し考えてしまいました。2020年は2019年に比べて、開催総数はおよそ6割、参加人数は4割ですが、参加人数制限があるので平均参加人数が半減するのは当然ですし、また、複数回開催する工夫をしていることから開催総数のほうが多いことを考えると、全体として、コロナ禍で制限のある中、最大限参加者を取り込むことができた、と考えてよいということでしょうか。人数に制限を設けたことで、お断りする人数は多かったのでしょうか。人形劇やお話し会など、できる範囲内で、オンライン開催を検討してもよいのではないかと思います。</p> <p>・児童図書、青少年図書の貸し出しについて コロナ禍による貸し出し数への影響を読み取るためにも、やはり、月別の貸し出し数の前年比や、コロナ後の増加割合などを出していただけるとありがたいです。「前年を超える貸し出し状況が続いている」とはいえ、年総計で見ると増加していないので、わかりにくいと感じます。はオンライン授業と自宅での課題が増加し、特に高校生は、資料も書籍もオンラインで見ることが非常に多くなっています。授業や課題に必要な資料や図書、特に統計や年鑑などを電子図書で借りることができると、大変便利だと思います。スマホ世代の利用促進を考えると、電子図書の検討は不可欠だと思いますが、コロナ禍でさらに需要は高まっていると思います。巣ごもり中でも、電子図書なら非接触ですぐに借りることができます。ぜひ、導入を急いでいただきたいと思います。</p> <p>※統計が、児童事業は「年」で、貸し出し数は「年度」となっていますが、読書推進活動は「年度」での活動になっていると思いますので、できれば、年度統計に統一していただけるとありがたいです。</p>

委員 ⑨	<p>コロナ禍で児童書、青少年図書とともに貸出人数が増えたことは、読書活動の推進という観点からはまさに「家で読書に親しむ好機」であった(ある)かと思います。資料にもある通り、是非オンライン動画の活用や電子図書導入など積極的に推し進めていただければと思います。</p> <p>コロナ禍でみなさまの業務も本当に大変な状況が続いていると思いますが、くれぐれもみなさまお身体にはお気をつけて、どうぞご自愛ください。</p>
委員 ⑩	<p>コロナ禍を「家で読書に親しむ好機」ととらえること、非常に重要で意義深い考え方と思います。</p> <p>インターネットでのリスト提供に加え、動画による紹介(司書によるガイドなど)、動画での読み聞かせ(個人では権利の関係もあて難しい)など、多彩な取り組みをお願いしたいと思います。ネットの提供は、アクセスの確保が重要です。広告などを打てない場合、SEOに頼るのは難しいですから、小中学校、図書館、児童館などの接点を活用し、目の前でアクセスできる機会創出を検討してください。とくに小中学校の授業時間に利用されるような形が有効と思います。</p>
委員 ⑪	<p>利用統計表等、詳しい資料があり、コロナ禍前後での数字が良くわかりました。ありがとうございます。</p> <p>コロナ禍では対面での事業は難しいようです。また青少年の図書の貸出数も増えていないようです。対面で行う事業はコロナ禍でも対応できるような方法を考えてみるのも良いかと思います。</p> <p>青少年に関してはコロナ禍で読書に費やす時間に変化している気もします。図書館から何かアプローチできると良いと思います。</p>
委員 ⑫	<p>コロナ禍で外出制限が必要となりましたが、子供たちが安心して利用できる場所として図書館があるということを改めて感じました。</p> <p>高校生の息子の場合ですが、学校からと塾からの課題が沢山郵送されてきて、図書館を利用する時間が有りませんでした。</p> <p>また、親としては感染への不安も大きく、本の消毒器の導入が進められることを願っております。</p>

議題 1 についての質問事項

	議題 1 についての質問事項	図書館からの回答
委員②	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館が本を貸出セットを作り、利用者の要求に応えようとしたのは良いことでした。この発案はどこからのものだったのか、と思っています。 ・「ブックスタート」の名称が見あたりません。なぜでしょうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・光が丘図書館については事業統括係の発案です。その他の館については実施した館とそうでない館がありますが、それぞれの館の発案で実施いたしました。 ・申し訳ありません。ブックスタート事業については、今回の資料に記載しておりません。次回、ご報告したいと思えます。
委員③	<ul style="list-style-type: none"> ・資料 3-1 の「その他子供事業」とはブックスタートですか。 ・小学校・保育園などへの団体貸出は？ ・学校図書館の電算化での学校図書館の利用については？ 	<p>資料 3-1 の「その他子供事業」は「お話し会」「お楽しみ会」「工作会」「児童映画会」「人形劇」「昆虫教室」「子供読書推進活動記念事業」を除いた児童行事です。ブックスタートは含まれておりません。</p> <p>団体貸出数については今回の報告には記載しておりませんでした。次回にご報告したいと思えます。</p> <p>学校図書館については、今回は区立図書館の実績をご報告していますので掲載しませんでした。また学校図書館蔵書管理システムは令和 2 年度に全校配置が終了したもので、有意な統計は令和 3 年度終了以後に確定されます。</p>
委員⑧	<p>(児童事業の)人数に制限を設けたことで、お断りする人数は多かったのでしょうか。</p>	<p>行事への参加をお断りをする事例はなかったと把握しています。</p>

議題2 意見集計

各委員のオンライン会議サービスのご利用状況について

(1) ZOOM (ズーム) の利用状況について

	パソコン		スマートフォン		利用可否
	利用経験	通信費	利用経験	通信費	
	【A】 全くない 【B】 1～3回 【C】 4回以上	【A】 定額使い放題 【B】 従量制	【A】 全くない 【B】 1～3回 【C】 4回以上	【A】 定額使い 放題 【B】 従量制	【A】 参加可能 【B】 参加可能だが確実性に不安がある。 【C】 参加は難しい
A の数	3	10	5	6	10
B の数	2	1	3	4	2
C の数	8	0	4	0	1
空欄	0	2	1	3	0

(2) ZOOM 以外に、利用したことのあるオンライン会議サービスについて

	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10
	パソコン		スマートフォン		利用可否
	利用経験	通信費	利用経験	通信費	
	【A】 全くない 【B】 1～3回 【C】 4回以上	【A】 定額使い放題 【B】 従量制	【A】 全くない 【B】 1～3回 【C】 4回以上	【A】 定額使い 放題 【B】 従量制	【A】 参加可能 【B】 参加可能だが確実性に不安がある。 【C】 参加は難しい
A の数	3	10	5	6	10
B の数	2	1	3	4	2
C の数	8	0	4	0	1
空欄	0	2	1	3	0

議題2についての自由意見

議題2についての自由意見	
委員①	スマートフォンは持ち合わせておりませんが全てパソコンにて対応できます。
委員②	なるべく対面をお願いします。
委員③	職場で、W I F i につなげば容量制限などなく、Z O O M ができます。 “ I M O ” “ T e a m s ” “ ライン ” のグループ会話（テレビ電話）を試してみましたが、ZOOMが使用しやすかったので、仕事、プライベート会議はZOOMを使用しています。
委員④	・小学校に勤務しているので、パソコンは学校設置のもの、スマートフォンは個人持ちのものを学校で使うことを想定して回答しています。なお、自宅に限れば、Wi-Fi 環境（定額）が整っているため、個人持ちのパソコン、スマートフォンのどちらも通信費はかかりません。
委員⑤	ZOOMであればPC又は自身のi P a d で参加することができます。感染対策として、オンラインでの会議開催は有効だと思います。しかし、コロナがおちついたら、ぜひ対面で多くの方のお話を直接うかがいたいです。
委員⑥	経験上、オンライン会議は、事前の準備がとても重要だと感じています。 参加者は前もって資料をきちんと読んでおくことが前提ですし、対面による会議以上に、開催者（司会）の力量が問われると感じています。ZOOMの使い方（ビデオ/ミュートの使い方、発言者のミュートオフの使い方、資料の画面共有のやり方、など）を熟知していることはもちろんですが、開催者が、参加者一人一人を名指しして発言を促さないと、意見が出にくく、静まり返ります。しかし、対面より、全員の意見がフラットな状況で聞けて、よいこともあると思います。ぜひ一度、試してみるといいのではないかと思います。
委員⑦	自身所有のパソコン、スマホから（図書館以外から）参加させていただけると助かります。どうぞご検討のほど、よろしく願いいたします。
委員⑧	方法はいづれでも構いません。事務上の手間の削減を優先させてください。 全員がオンラインでできなくても、一部の方のみ会議室に来られるといった形で可能だと思います。 開催される場合は、はっきりと声が聞こえる状態の実現は留意してください。（対面でも同様です）

委員 ⑨	自宅での参加も可能ですが、家族もオンライン授業等があり、時間が重なった場合、通信環境が良好かどうか不安です。
---------	--

その他の意見

委員 ⑩	南大泉図書館分室の御受賞おめでとうございます。以前見学させていただき、素晴らしい施設と本のラインナップに他の委員の皆様と子供の様にはしゃいだことを思い出しました。
---------	---